

10	<ul style="list-style-type: none"> 言葉豊かに 敬語分類 二つの言葉一つになって 	<ul style="list-style-type: none"> 尊敬語、謙譲語、丁寧語、美化語のそれぞれの性質を理解し、目的や場に応じて使い分けられるようにする。 言葉の誤用が引き起こす問題について考え、自分の言語生活を見直し言葉を正しく使う姿勢を身につける。 					<ul style="list-style-type: none"> 文章を正しく音読し、語句の意味を把握することができるか。 文脈や筆者の意見に忠実な読解をし、その主旨を読み取れているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	定期テスト< 3 >							
11	<ul style="list-style-type: none"> 表現の実践(2) 意見文を書く 1 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書くことの意義と手順を理解する。 例文を通して意見文を書くときの留意点を具体的に理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> 意見文の基本的な書き方について理解できているか。 目的や場に応じて書くために必要な情報を収集・整理できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 練習問題 国語ワークノート
	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書く 2 	<ul style="list-style-type: none"> 資料(課題文)に対する自分の意見をもつことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> 情報を整理して自分の考えを論理的に述べているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 練習問題 国語ワークノート 提出レポート
12	<ul style="list-style-type: none"> 時間の見方を変えるとき(本川達雄) 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の書き方によって自分の意見を的確に表現することができる。 論理的な文章を読み、全体の構成や論旨を読み取る力を身につける。 筆者の意見に対する自己の考えや意見を表現する。 					<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、それを的確に説得力をもって表現することができるか。 論理的な文章の構成を理解し、筆者の意見を読み取ることができるか。 読み手を意識し、論理的な構成や展開を工夫して、自分の考えを適切に文章にまとめることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	定期テスト< 4 >							
1	<ul style="list-style-type: none"> 表現の探求 日本語の特徴 トカ弁-婉曲表現の現在(俄万智) 古語雑談-「やさし」の語史 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の語彙や文法の特徴を理解する。 日本語について触れたエッセイを読み、言葉に対する繊細な感性を養う。 言葉の意味の変遷をたどる中で言葉に対する関心を高めつつ、言語感覚を磨く。 					<ul style="list-style-type: none"> 日本語文法の特徴が理解できている。 国語の語句、語彙の構造的な仕組み、言語の個人的・社会的・文化的役割などについて理解している。 流行語として見られがちな若者言葉に、日本人としての代わらない本質を見ようとする筆者の考えを正確に読み取ることができるか。 言葉の意味や用法の時代的変遷を具体例に基づいて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 練習問題 国語ワークノート
2	定期テスト< 5 >							

現代社会

山梨県立谷村工業高等学校公民科

1 教科目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 評価の観点及び趣旨

意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。

3 年間指導計画

月	単元	学習内容
4	環境と私たちの生活	地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、森林破壊と野生生物の種の減少、砂漠化などさまざまな環境問題やその国際的な取り組みについて学習し、人間生活と環境問題を関連させて追究する。
5	資源・エネルギー問題と私たちの生活	資源に限りがあること、エネルギー利用の変化と石油の需要、原子力発電とその課題、新エネルギーについて学習し、資源・エネルギーの問題問題と自らの生活のあり方を追究する。
6	私たちの生活と宗教や芸術	日常生活における宗教・芸術や文化について学習し、宗教や芸術と私たちの生活の関わりについて追究する。
	科学技術の発達と私たちの生命	科学技術がかかえる問題、科学技術と生命の操作、生命倫理をめぐる問題について学習し、生命の考え方の変化に対応して、生命のあり方にかかわる課題を追究する。
7	豊かな社会と福祉社会	豊かさの意味、日本の社会保障制度、少子高齢化と福祉社会、豊かな社会とは何かを学習し、豊かな社会とはどのような社会かを追究する。
9	現代社会の特質と社会生活の変化	大衆社会、少子高齢社会、高度情報社会、国際化社会について学習し、現代社会の特質と社会生活の変化について追究する。
10	現代に生きる青年	青年期の意味、青年期の充実や自立にむけて、社会とのかかわり、私たちの生きがいなどを学習し、青年期のあり方、生き方について追究する。
11	現代の経済社会と私たちの生活	産業構造の変化、企業の役割と社会的責任、中小企業の現状と課題、政府の経済的役割、財政のしくみと税金、金融機関のはたらき、雇用と労働問題、労働環境の整備について学習し、現代の経済社会と私たちの生活との関わりについて追究する。
		世界の経済体制の動向、国際分業と貿易、国際収支と為替相場、貿易と経済摩擦、国際協力と国際組織の役割、発展途上国の経済と南北問題について学習し、国際経済の動向と日本の役割について追究する。
1	現代の民主政治と私たちの生活	基本的人権、日本国憲法、日本の安全保障、平等に生きる権利と自由に生きる権利、裁判所と人権保障、国会の運営と権限、内閣と行政の民主化、地方自治と住民の福祉、選挙制度の現状と課題、世論の形成と政治参加について学習し、現代の民主政治と私たちの生活について追究する。
		第二次世界大戦後の国際社会、国家主権と国際法、国境と領土問題、地域紛争と人権・民族問題、国際連合の役割、核兵器の廃絶と国際平和、日本の外交、日本の役割と日本人の生き方について学習し、国際政治の動向と日本の役割について追究する。
3	民主社会の倫理	人間の尊厳と生命の尊重、自由な社会の実現、平等な社会の実現について学習し、民主社会の倫理について追究する。

4 項目ごとの評価規準

大項目	項目	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代に生きる私たちの課題	環境と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に対する関心が高まっている。 地球環境問題について自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究している。 地球環境問題について自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題について自己とのかかわりに着目して設定した課題を見いだしている。 地球環境問題について環境保全をどう図っていくかを多面的・多角的に考察している。 地球環境問題に対する国際的な取り組みや協力、自らの生活の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。 収集した資料の中から地球環境問題について設定した課題を追究する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 地球環境問題について設定した課題を追究し考察した過程や結果を、レポートや報告書にまとめたり、発表などを行ったりして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題は、人間の様々な活動が自然環境への負荷を増加させたことによる地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解し、その知識を身に付けている。 地球環境問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。
	資源・エネルギー問題と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー問題に対する関心が高まっている。 資源・エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究している。 資源・エネルギー問題について自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだしている。 資源・エネルギーの消費・利用について多面的・多角的に考察している。 資源・エネルギー問題に対する自らの生活の在り方や価値観について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。 収集した資料の中から資源・エネルギー問題について設定した課題を追究する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 資源・エネルギー問題について設定した課題を追究し考察した過程や結果を、レポートや報告書にまとめたり、発表などを行ったりして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源は有限であることについて理解し、その知識を身に付けている。 資源やエネルギーの開発・利用の在り方や新エネルギーの開発について世界の国々の間様々な立場で、それぞれの考え方があることに気づき、その知識を身に付けている。 資源・エネルギー問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。
	私たちの生活と宗教や芸術	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と宗教や芸術とのかかわりに対する関心が高まっている。 日常生活と宗教や芸術とのかかわりに着目して自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究している。 日常生活と宗教や芸術とのかかわりに着目して自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と宗教や芸術とのかかわりに着目して課題を見いだしている。 真理や理想を追い求めることの意味や精神的な豊かさについて多面的・多角的に考察している。 信念や信仰、芸術などの人生における意義について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と宗教や芸術とのかかわりに対する諸資料を様々なメディアを通して収集している。 収集した資料の中から日常生活と宗教や芸術とのかかわりに着目して設定した課題を追究する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における慣習の中に宗教的な意味をもつものがあることや、芸術が生まれた社会背景などを理解し、その知識を身に付けている。 宗教や芸術が生まれる背景や人生における意味を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。
科学技術の発達と私たちの生命	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達と生命の問題に対する関心が高まっている。 科学技術の発達と生命の問題について自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究している。 科学技術の発達と生命の問題について自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達と生命の問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだしている。 科学技術の発達に伴う生命の考え方の変化について多面的・多角的に考察している。 科学技術と生命の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達と生命の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。 収集した資料の中から科学技術の発達と生命の問題について設定した課題を追究する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の成果が社会生活のすみずみまで浸透するとともに、生命の在り方にまで影響が及んできたことについて理解し、その知識を身に付けている。 科学技術の発達と生命の問題が生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。 	

	<p>豊かな社会と福祉社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな生活と福祉社会に対する関心が高まっている。 豊かな生活と福祉社会について自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究している。 豊かな生活と福祉社会について自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 	<p>豊かな生活と福祉社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな生活と福祉社会について自己とのかかわりに着目して課題を見いだしている。 物質的、精神的、文化的に豊かな社会とはどのような社会かについて多面的・多角的に考察している。 住宅、社会資本、労働と余暇、地域社会の在り方、社会保障制度の在り方などについて社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<p>豊かな生活と福祉社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな生活と福祉社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。 収集した資料の中から豊かな生活と福祉社会について設定した課題を追究する学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 	<p>国や地方公共団体が社会保障制度を充実させることの必要性について理解し、その知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉社会における自助努力の必要性について理解し、その知識を身に付けている。 豊かな生活と福祉社会が求められる背景や豊かな社会とはどのような社会かを追究する観点として、倫理、社会文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。
	<p>現代社会の特質と社会生活の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代社会の特質と社会生活の変化に対する関心が高まっている。 	<p>現代社会の特質と社会生活の変化から課題を見いだしている。</p>	<p>現代社会の特質と社会生活の変化や青年の生き方に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。</p>	<p>現代社会においては、様々な組織が巨大化し人間関係が希薄化、孤立化するとともに、大量生産・大量消費により文化や行動様式が画一化する傾向があることについて理解し、その知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代社会においては、少子化の進行と平均寿命の伸長による急速な人口の高齢化をもたらす労働力人口の減少、地域社会の変容、介護あるいは福祉などの課題があることについて理解し、その知識を身に付けていく。 異なる文化をもつ国々への相互理解と協調の精神をもつことが大切であることを理解し、その知識を身に付けていく。 社会の急激な変化に伴って社会生活に変化が見られたことを理解し、その知識を身に付けていく。
	<p>現代に生きる青年</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年の生き方に対する関心が高まっている。 生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究している。 現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。 	<p>青年の生き方から課題を見いだしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題について自らの人生や進路選択とかかわらせながら多面的・多角的に考察している。 現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<p>生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題、青年としていかに生きるかについて追究し考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の中から生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題、青年としていかに生きるかについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 	<p>青年期は親などへの依存を脱し、自らの生き方を多くの可能性の中から選択し社会生活に主体的に参加する中で、自己を形成し心理的、社会的な自立を遂げていく重要な時期であることについて理解し、その知識を身に付けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい職業観・勤労観について理解し、その知識を身に付けていく。
<p>現代の社会と私たちの経済生活</p>	<p>現代の経済社会の諸事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動の在り方について考えようとする。</p>	<p>現代の経済社会の諸事象から課題を見だし、個人と企業の経済活動における社会的責任などについて多面的・多角的に考察し、経済活動の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。</p>	<p>現代の経済社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用するとともに、個人と企業の経済活動における社会的責任や経済活動の在り方を追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表</p>	<p>現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解し、その知識を身に付けている。</p>

人間としてのあり方生き方	国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済の動向に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、国際経済における日本の役割について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済における諸事象から課題を見だし、世界と日本の経済活動の在り方について多面的・多角的に考察し、国際経済の在り方について様々な立場、考え方を踏まえ公正に 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用するとともに、世界と日本の経済活動における関わりや役割を追究し、考察した過程や結果を様々な方法で適 	<ul style="list-style-type: none"> 経済体制の特徴や課題、国際分業と貿易、国際収支と為替相場、貿易と経済摩擦、国際協力と国際組織の役割、発展途上国と南北問題について理解し、その知識を身に付けている。
	現代の民主政治と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主社会に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主社会における人間としての在り方生き方を考えとともに、自ら生きる倫理について自覚 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主社会の諸事象から課題を見だし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用するとともに、民主社会における価値や民主政治を基礎付ける考え方、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方を追究し考察した過程や結果を様々な方法で適 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権の保障と法の支配、国民主権と議会制民主主義、平和主義と我が国の安全、日本国憲法の基本的原則、世論形成と政治参加の意義について理解し、その知識を身に付
	国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の動向や諸問題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考えようとし 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の動向や諸問題から課題を見だし、国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割などについて多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の動向や諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用するとともに、国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割や国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方を追究し考察した過程や結果を様々な方 	<ul style="list-style-type: none"> 人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解し、その知識を身に付けている。
	民主社会の倫理	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主政治と民主社会の倫理に対する関心が高まっている。 民主社会における、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範の意味を意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主政治と民主社会の倫理から課題を見いだしている。 民主社会における、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範について多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の民主政治と民主社会の倫理に関する諸資料を様々なメディアを通して収集してい 	<ul style="list-style-type: none"> 生命の尊重は、現代社会において最も大切な価値であり、生命に対する尊重及び畏敬の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが、生活と福祉の向上を実現していくことになる点に気付き、その知識を身に付けてい 自由や権利の行使は、同時に他人の自由や権利を侵害しないという制約を伴い、義務と責任を果たすことによって初めて社会的な関係の中で生かされることを理解し、その知識を 人間の尊厳と平等は民主社会を基礎づける基本的な考え方であることを理解し、その知識を身に付けている。

5 項目ごとの評価方法

大項目	項目	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代に生きる私たちの課題	環境と私たちの生活 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	課題と私たちの生活 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	私たちの生活と芸術 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	科学技術の発展と私たちの生活 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	豊かな社会と福祉 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
現代の社会と人間としてのあり方	現代社会の特徴と変化 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	現代に生きる青年 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	私たちの生活と社会 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	国際社会の動向と日本 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	現代の民主政治と私たちの生活 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	国際社会の動向と日本 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験
	倫理 出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント		学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 定期試験

物理

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）
3 単位	3 学年 機械システム科 建設科 電子情報科	新編 物理 （東京書籍）

1 教科・科目の目標

1. 身の周りのに見られる様々な物理的な事物・現象を知る。
2. その事物・現象を探究するための方法としての観察・実験の方法・態度を身につける。
3. これらを通して、事物・現象の背後にある物理の原理・基本法則を学び、論理的な考え方を養い、自然の美しさ・物理のおもしろさ・楽しさを知り、科学的な自然観を育成する。
4. 基礎・基本に基づいた自然現象に対する取り組む論理的な姿勢を育成する。

2 評価規準および評価方法

	関心、意欲、態度	思考・判断	観察・実験の技能、表現	知識・理解
評価基準	<p>日常に起こる運動やエネルギー、絶えず身の回りで生じている波動現象に対し関心を持ち、それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身に付けようとしている。さらに、未知な機器や自然現象に対して科学的な態度と方法で取り組むことができる。</p>	<p>運動現象や様々なエネルギーに由来する現象、波動に由来する現象を観察・実験をとおして分析し、論理的思考のもとに考察・判断を行うことができる。その結果、現象の中の問題点を見だし、科学的・実証的に解決することができる。</p>	<p>運動・エネルギー・波動に関する基本的な観察・実験の技能を習得するとともに、その方法の理論的背景を理解している。さらに、習得した能力にもとに、創意・工夫に富んだ新たな観察・実験の方法を見いだしたり、観察・実験の過程・結果や自らの考え等を的確に表現できる。</p>	<p>運動・エネルギー・波動に関する事象・現象について理解するとともにそれらに対する基本的な概念が形成できていること。また、それらを支配している基本的な原理や法則を観察・実験などとおして理解し、知識を身に付けている。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容に関心を示したか。 ・ 授業での応答、演習、実験・観察に意欲をもって取り組んだか。 ・ 授業、演習、実験・観察に積極的に取り組んだか、チームワークに配慮したか、等を勘案して評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験・観察、演習、授業中の応答などで、思考の「過程」を評価したい。実験などのデータに計測ミスなどがあって正しい結論に至らなかったとしても、その思考過程が物理的に正しく、しっかり判断もできていれば十分な評価を与えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察、実験の準備に怠りがないかどうか。 ・ 観察、実験中のデータの取り方が適切かどうか（とりこぼし、計測ミスなどがないかどうか）。 ・ データ処理が適切かどうか（間違いがないか、有効桁数などが適切か）。 ・ 観察結果、実験結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この事項は基本的には定期考査で確認する。 ・ 実験などのレポートでは、授業中に学習した事項が正しく理解され知識となっておりきちんとレポートに反映されているかどうかを見る。

			を他の人にもわかりやすく表現できているかどうか。 ・自分の実験事実、その実験事実に対する自分の考え、インターネットなどを活用して調べた事項などについてははっきり区別して表現しているかどうか、などについて評価する。
--	--	--	---

3 学習計画等

月	学習内容	学習のねらい	評価基準		評価観点
4	- 1 直線運動の世界	・物体の運動についてどう表したらよいか考え、物体の移動間隔、移動の向きの変化に気づかせる。	関心・意欲・態度	日常の様々な物体の運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。それらの運動を理解する端緒としての直線上の運動に対して関心を抱き、運動の表し方・重力による運動に対して意欲的に取り組んでいる。	
			思考・判断	等加速度直線運動をもとにして、多くの複雑な運動の理解に至ることを知り、運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し、考察できる。	
			観察・実験の技能・表現	等速直線運動・等加速度直線運動の観察・実験などを通して、実験機器の操作と結果の表し方・データ処理の仕方を習得する。	
			知識・理解	等加速度直線運動に関する基本的な概念や公式を理解し、運動を解析する方法を身に付けている。その最も身近なものとして、地表における重力による運動についても正しく理解している。	
5	- 2 運動を支配する法則	・運動の法則、力の種類、力の記述方法について学び、問い・編末問題やその他の問題を通して、物体の運動を定量的に扱うことに慣れる。	関心・意欲・態度	力のはたらき・性質と運動との関係について、日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち、科学的に探究しようとする。	
			思考・判断	日常に見られる運動や力のはたらきから様々な種類の力の概念を見だし、力の性質や運動との関わりについて考察ができる。また、これらに関する観察・実験を通して、運動の三法則の理解を深め、身の回りに生じる様々な現象に対して正しく解析し判断できる。	

			<p>観察・実験の技能・表現</p> <p>日常に見られる運動をとおして物体にはたらく力を見いだした自らの考えを的確に表現できる。また、運動の三法則や様々な力についての法則に関する実験方法を習得し、科学的な探究の方法の基礎を体得し、よりの確な実験や観察の方法を見いだすことができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>重力・摩擦力・弾性力・浮力等について理解し、知識を身に付けていること。物体にはたらいているこれらの力を正しく見だし、運動方程式を立てられる。(また、つり合いの2力と作用・反作用を正しく区別出来ること。)</p>	
6	- 3 多彩な運動の世界	<p>自由落下や水平投射など、さまざまな運動において、式が立てられるようになる。</p> <p>力の合成・分解など、運動の概念を図やグラフで表せるようになる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>力や速度等の物理量がベクトルであること。ベクトルの計算、即ち、合成と分解に関心を持ちその意味するところに意欲的に取り組んでいる。また、放物運動との関わりについても意欲を持って取り組み探究している。</p>	
		<p>力や速度の合成や分解において、ベクトルの扱いに慣れる。</p> <p>力のつり合い、モーメントや偶力を理解する。</p> <p>質量と重さの違いを理解する。</p>	<p>思考・判断</p> <p>運動の相対性に代表されるように、様々な観測者の視点に立って運動を見たり、科学的な本質を見抜きの確に表現することができる。力のモーメントについて生活の中での道具と関連づけて表現でき、道具によって何を便利にしているのか、道具の機能の一面について理解をえる。</p>	
			<p>観察・実験の技能・表現</p> <p>放物運動や力のつりあいについて実験を行う。また、力のモーメントを利用した日常の様々な道具について実例や実演によって、話し合い討議する。</p>	
		<p>知識・理解</p> <p>ベクトルの合成・分解、合成速度・相対速度、放物運動、力のモーメント・偶力・剛体のつり合いについて基本的な概念や法則・公式を理解し、的確に使用でき、知識を身に付けている。</p>		
7	- 1 秘められた能力をさぐる	<p>仕事とは何か。表面上の日常概念と物理概念の違いを理解するとともに、実際は違わないことを理解する。</p> <p>エネルギーとは何か。エネ</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>エネルギー概念と仕事について関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。また、力学的エネルギーについて、エネルギーの移り変わりに興味を持って取り組んでいる。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>物理での仕事と日常経験している仕事との相違について正しく理解し、本質的に違わないことに思いを巡らせ、事象に対する的確に説明・判断ができる。そして、物理による仕事の定義が本質的であり、そこから導かれる結論を通して、日常の便利な道具により何を得し、何を得していないのかという別な一</p>	

8	<ul style="list-style-type: none"> ルギーをはかる物差しとしての仕事を学び、計算ができるようになるとともに、仕事の原理を理解する。 仕事のできる能力としての運動エネルギーと位置エネルギーについて学び、それぞれ計算が出来るようになる。 力学的エネルギーが保存されることと、その適用条件について学び、計算が出来るようになる。 	<p>面に理解が及び、判断できる。</p>	
		<p>観察・実験の技能・表現</p> <p>日常の様々な道具について何を得し、何を得していないのか話し合ったり、実験をし、得られた結果を的確に表現できる。簡単で単純な実験により運動エネルギー・位置エネルギーの移り変わり、即ち、力学的エネルギー保存則について観察・実験を行い、技能を習得する。</p>	
9		<p>知識・理解</p> <p>仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し、力学的エネルギー保存則について成立条件を含めて正しく知識を身に付け活用できる。</p>	
10	<p>- 2 めぐりめぐる不変なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱と分子運動の関係を理解し、熱の入れ物としての物体をイメージでき、熱量の計算ができる。 エネルギーの変換と保存に対して理解し、マクロ的・ミクロ的見方が出来るようになる。すなわち、力学の方法の延長線上のものとして熱現象を理解できるようになる。 エネルギーの変換の過程での力を取り出 	<p>関心・意欲・態度</p> <p>熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち意欲的に探究している。また、様々なエネルギーの種類と変換について関心を持ち、人類が利用してきたエネルギーの種類と大量消費について関心を持っている。</p>	
		<p>思考・判断</p> <p>原子論的立場からの熱と温度と熱運動について実証的・総合的に考察できる。また、エネルギーの変換に関する実験を行い、エネルギーについて考察するとともに、エネルギーの移動が「力」を生じさせることに思考が及びその遷移を的確に判断できる。</p>	
		<p>観察・実験の技能・表現</p> <p>物質の三態・比熱等の実験や熱現象の本質を調べる実験を通して、エネルギーの保存・熱機関の効率について習得する。 また、エネルギーと力の関係を的確に表現できる。</p>	
		<p>知識・理解</p> <p>熱・熱平衡・比熱・熱容量・温度・ジュール熱・電力・内部エネルギー・熱機関・熱効率・エネルギー保存則等の基本について理解し、法則・公式を活用できる。 また、エネルギー収支についても考えが及び、科学の進歩によりより低密度のエネルギーの利用が可能になりつつあることを知識として身に付けている。</p>	

		<p>す熱機関をイメージし、理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境とエネルギーバランスについておおまかに理解する。 			
1 1	- 1 時空に満ちる波	<ul style="list-style-type: none"> 波とは何が伝わっているかを理解する。振動・媒質・波の速度。 縦波・横波の違いを理解するとともに、波の基本的性質である回折・干渉について学ぶ。波長・振幅・ホイヘンスの原理 反射の法則 屈折の法則 <p>を理解し、作図・計算ができる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>地震波・水面波・音・光など、身近に絶えず発生している様々な波に関する現象に興味関心を持ち、意欲的に探究し、波動現象の基本的概念を知るために意欲的に取り組んでいる。</p>	
			<p>思考・判断</p>	<p>様々な波動現象から波動現象に共通している性質・特徴を考察することによって、波動現象の本質を見いだし判断できる。</p>	
			<p>観察・実験の技能・表現</p>	<p>水波実験器や波動実験器等を用いて、波の種類・基本的性質を観察・実験する方法を習得する。また、縦波の横波表現やホイヘンスの原理に基づいた様々な波動現象の作図ができる。</p>	
			<p>知識・理解</p>	<p>波の基本である波長・振動数・速度・屈折・反射や波の種類。そして特有の性質としての回折・干渉等について理解し身に付けている。また、波動現象の原理・法則を活用できる。</p>	
1 2	- 2 空気のふるえを追う	<ul style="list-style-type: none"> 最も身近な波である音波について、これまで学んだことをもとにして理解するとともに、音の三要素とは何かを学ぶ。 ドップラー効果、弦・気柱の固有振動・定常波・共振を通して楽器についての理解を深める。 	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>音波の特徴や性質・伝わり方に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。また、音波の発生装置である楽器等に興味を持ち、波の基本的性質と関連づけて取り組んでいる。</p>	
			<p>思考・判断</p>	<p>音波の発生から伝播に関する現象を各々の波動現象として捉えられ、統一的に判断できる。また、音波とそれによる物体の振動に関係している日常の様々な現象に対して的確に考察・洞察し判断できる。</p>	
			<p>観察・実験の技能・表現</p>	<p>弦楽器・管楽器の実験・観察を通して、これまでに学習した波動現象を確認し、定常波・共振・共鳴等に関する実験技能を習得し、得られた結果から科学的に現象を表現できる。</p>	
			<p>知識・理解</p>	<p>音が疎密波であること、音の三要素・波形と純音の関係・ドップラー効果・回折・干渉・共振（共鳴）について理解し、楽器の原理について必要な知識を身に付け、量的関係を活用できる。</p>	
	- 3	<ul style="list-style-type: none"> 光、可視光線 	<p>関心・</p>	<p>光の示す現象と光学機器に関心を持ち、積極的にそ</p>	

1	光は波なのか	<p>が示す波の性質を学ぶ。反射・屈折・全反射・レンズについての現象・作図・計算ができる。</p> <p>・光が波（横波）であることの証である干渉・回折現象を実験を通して学び、計算ができるようになる。また、偏光・スペクトル・電磁波についても学ぶ。</p>	意欲・態度	れらを探究しようとする。	
			思考・判断	様々な光現象の理解から光が波動現象であることを知り、法則を見だし、光を通して認知する自然界について科学的な判断ができる。	
			観察・実験の技能・表現	鏡やレンズを用いた実験機器により法則を見だし、スリット・回折格子・偏光板を用いた観察・実験の方法を習得し、簡単な実験機器を製作する。	
			知識・理解	幾何光学としての光の性質と法則を理解している。波動光学に関する現象を理解し、知識を身に付けている。また、光についての原理・法則を理解し活用できる。	

体育（3年）

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
2単位	3年全学科	カラーワイドスポーツ（大修館）	体育担当教員

教科・科目の目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを味わうことができようとして自ら進んで運動をしようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心や興味をもち、学習に取り組もうとする。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を身に付けている。
評価方法	授業中の活動状況 出席状況 学習態度 班ノート記入内容 自己評価表	授業中の活動状況 班ノート記入内容	授業中の活動状況 班ノート記入内容 スキルテスト	授業中の発問に対する応答 班ノート記入内容 授業中の活動状況

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	安全に自主的・合理的に運動ができる知識と技能を身につけさせる 生涯にわたって計画的に運動ができるための、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけさせる。 スポーツにおけるルール的重要性を理解させ、ルールを決めるところから学ぶ意欲を持たせる。 グループ学習を取り入れ、自ら考える機会を多くする。 個人内評価が適切にできるよう、授業外での自主的な学習活動等も評価に含める。
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準	評価観点
4	体づくり運動	<p>自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題を持って次の運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、これらの運動を生活の中で実践できるようになる。</p> <p>体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、お互いに協力して運動ができるようにする。</p> <p>自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるよ</p>	関心・意欲・態度	自分の体や心の状態に気付き、体の体調を考えながら、体づくり運動を楽しく行おうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
			思考・判断	自分の体力や体調に適した運動を選んでいる。 運動の内容や方法を見直したりして、新しい運動を選んだりしている。
			技能・表現	自分の体力や体調に応じた運動を身に付け合理的に体力を身につけることができる。 新しい運動をすることができる。
			知識・理解	体づくり運動の特性を理解した中で、運動の種類と体力の向上する運動の行い方を説明できる

		うにする。			
5 ・ 6 ・ 7	選択 柔道 ・ 剣道 ・ ダンス	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようになる。	関心・意欲 ・ 態度	自分の能力に応じた技を習得し、相手との攻防を展開して競い合う武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。	
		伝統的な行動の仕方に留意して、お互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようになる。とともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようになる。また、禁止技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようになる。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、技の組み合わせや返し技を身に付けられるように課題を設定している。 試合などから新しい課題を見つけ出し、練習方法を考えたり、選んだりしている。	
		自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。	技能・表現	自分の能力に応じた技や対人技能を習得し、試合や練習をすることができる。 試合で、相手の動きや技に応じて、技をかける・防ぐ・返すなどができる。	
		自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。	知識・理解	武道の伝統的な考えや特性を理解した中で、各種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。 各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。	
			自己の能力に応じた課題を持って行い、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして交流し、発表することができるようにする。	関心・意欲 ・ 態度	ダンスの演技のできばえを求め、リズムに乗って動く、仲間とかかわりをもって動くダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
			お互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにする。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、イメージが表現できるように課題を設定している。 課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。
			グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようになる。	技能・表現	自分の技能に応じた技を身に付けスムーズ・リズムカルに表現することができる。 新しい技をリズムカルに表現することができる。
			グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようになる。	知識・理解	ダンスの特性を理解した中で、技の種類、技の組み合わせの構成やイメージした表現を考えられる。 発表の仕方や共感、感動する鑑賞の仕方を説明できる。
8 ・ 9 ・ 10	選択 球技	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	思考・判断	技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。	
		チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームがで	技能・表現	自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。 練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。	

		<p>きるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p> <p>チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。</p>	
11・12	選択 陸上競技	<p>自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができるようにする。</p> <p>お互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</p> <p>自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>競技の向上を求めて、全力で取り組み、陸上運動の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるの中で目標や課題を設定している。</p> <p>課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるをすることができる。</p> <p>走る・跳ぶ・投げる中で、基本的な動きを身に付け、競技したり記録を高めたりすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>陸上運動の特性を理解した中で、種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。</p>	
1	選択 (球技)	<p>チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</p> <p>チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。</p> <p>練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。</p> <p>新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、</p>	

する。

チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようになる。また、競技会の企画や運営ができるようになる。

種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。

各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。

英語 評価基準

山梨県立谷村工業高等学校
英語担当教員

対象学年 3年生
使用教科書 ENGLISH NOW (KAIRYUDO)

1. 科目目標

身近な話題から社会的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的かつ発展的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てる。

2. 評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	幅広い話題について、情報や考えなどの伝えたいことを整理して、英語で話したり書いたりして表現する。	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを整理して理解する。	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけると共に、その背景にある文化などを理解している。

3. 年間学習計画

	単元	学習内容
1	Lesson 1 ・助動詞 can など ・節の働き（副詞節・名詞節・形容詞節） Lesson 2 ・主語 + 動詞 + 目的語 + 補語の文の受身 ・否定を表す few など ・分数を表す言い方	本文の音読、本文の内容の理解 助動詞 can / may / must の用法の理解 副詞節・名詞節・形容詞節の違い 節を使った文章の英訳 気持ちを聞かれた場合の応答 本文の音読、本文の内容の理解 主語 + 動詞 + 目的語 + 補語の文の受身の理解、英訳 few を含む文の理解、英訳 分数表現の理解、読み方 高さを聞かれた場合の応答
2	Lesson 3	本文の音読、本文の内容の理解

3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了 ・主語 + be 動詞 + 補語 (that 節) ・助動詞 + have + 過去分詞 	<p>現在完了を用いた文の理解、英訳</p> <p>主語 + be 動詞 + 補語 (that 節) を用いた文の理解、和訳</p> <p>助動詞 + have + 過去分詞を用いた文の理解、和訳</p> <p>大きさを聞かれた場合の応答</p> <p>本文の音読、本文の内容の理解</p>
	<p>Lesson 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語 + 動詞 + 目的語 (whether 節) ・主語 + 動詞 (make) + 目的語 + 補語(動詞の原形) ・部分否定 	<p>主語 + 動詞 + 目的語 (whether 節) を用いた英文の理解、英訳</p> <p>主語 + 動詞 (make) + 目的語 + 補語 (動詞の原形) を用いた英文の理解、英訳</p> <p>部分否定を用いた英文の理解、英訳</p> <p>博物館に行きたい理由の尋ね方</p> <p>本文の音読、本文の内容の理解</p>
	<p>Lesson 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな接続詞 ・It is ~ that...(強調構文) 	<p>接続詞 before、while、as、if を用いた英文の理解、英訳</p> <p>It is ~ that...(強調構文) を用いた英文の理解、英訳</p> <p>ものが何からできているかの説明の仕方</p> <p>本文の音読、本文の内容の理解</p>
Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・主語 + be 動詞 + said など + to ~ (不定詞) ・関係詞 what ・受身の不定詞 	<p>主語 + be 動詞 + said など + to ~ (不定詞) を用いた英文の理解、英訳</p> <p>関係詞 what を用いた英文の理解、英訳</p> <p>受身の不定詞を用いた英文の理解、英訳</p> <p>「パソコン」の英語の言い方を尋ねる</p>

4 小単元ごとの評価規準

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学期 中間 試験	「読むこと」の言語活動に積極的に参加している。	発音に留意し、積極的に英語を音読している。 /i:/ /i/ の発音が正しく区別でき、発音できる。	携帯電話の普及に伴う便利さと問題点を読み取ることができる。 携帯電話についての日本に住む3人の若者の意見についての英文で理	助動詞 can/ may /must/の使い分け、英訳ができる。 節の3つの用法(副詞節・名詞節・形容詞節)の違いを和訳で説明できる。

			解できる。	
1 学 期 期 末 ま で	「話すこと」の 言語活動に積極的 に参加している。 ペア・ワークに おいて英語で積極 的に話している。	ものの長さ、重 さ、体積などを英 語で言い表し、英 語で説明すること ができる。 「th」の発音の 種類を区別でき、 正しく発音できる。	長さ、重さ、体 積などの単位を英 語で表現でき、世 界各地の測定単位 がどのように変化 してきたか英文で 読み取ることがで きる。	第5文型の文の 受身形を用いた文 を理解し、和訳で きる。 主語に否定の意 味を含む文をを理 解し、和訳ができ る。 いろいろな値の 分数を英語で言い 表すことができる。
2 学 期 中 間 ま で	「読むこと」 「書くこと」の言 語活動に積極的に 参加している。	恐竜を軸に、自 然環境について自 分の意見を英語で 表現することがで きる。 2重母音/e i/ の音を正しく発音 できる。	これまでにどの ような動物が絶滅 し、また、絶滅の 危機に瀕している か、恐竜がどのよ うにして栄え絶滅 していったかを英 文で理解し地球環 境の変化との関連 を理解し、環境の 影響について意見 をまとめることが できる。	現在完了の3つ の用法を理解し、 正しい英文が作れ る。 補語に that 節が 来る文の意味、形 を理解し、英訳で きる。
2 学 期 期 末 ま で	「読むこと」、 「書くこと」の言 語活動に積極的に 参加している。	遺伝子組み換え 食品に関する英文 から、現代の食品 の問題点について 自分の意見をまと めることができる。 ブーメランの不 思議な点と魅力に ついて自分の意見 をまとめることが できる。	遺伝子組み換え 食品に関する問題 点についての消費 者と専門家の問答 について英文を理 解でき、問題点を 正しく読み取るこ とができる。 オーストラリア のブーメランの不 思議とその魅力を	第3文型の文の 中で目的語に whether 節が来る の英文の意味を理 解し、英訳できる。 第5文型の文の 中で動詞が make、 補語に動詞の原形 が来るの英文の意 味を理解し、英訳 できる。

		<p>日本語の「ア」に相当する英音を正しく発音できる。</p> <p>日本語の「オ」に相当する英音を区別でき、正しく発音することができる。</p>	読み取ることができる。	<p>部分否定の英文の意味を理解し、英訳できる。</p> <p>before, while, as, if の副詞節を含む英文の意味を理解し、英訳できる。</p> <p>強調構文の特徴を理解し、強調文との違いが理解できる。</p>
3 学 期 末 ま で	「読むこと」、「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。	<p>チョコレートはいつ頃から、どのような形で食されるようになったかについて表現し、発表することができる。</p> <p>過去形 -ed の3通りの発音の仕方が理解でき、正しく発音できる。</p>	世界でのチョコレートの食され方、いつ頃発見されたか、いつ商業的に生産されるようになったか、日本での食され方について英文で理解できる。	<p>過去形と過去完了形の形、意味の違いが理解できる。</p> <p>過去完了を使った英文を作ることができる。</p> <p>助動詞と受動態が組み合わさった英文を理解し、英訳できる。</p>

5 小単元ごとの評価方法

単元	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学 期 中 間 ま で	出席状況 学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験
1	出席状況	学習態度	学習態度	学習態度

学期 期末 まで	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集） 英語検定試験	授業プリント フレッシュノート 英語（問題集） 英語検定試験	授業プリント フレッシュノート 英語（問題集） 英語検定試験	授業プリント フレッシュノート 英語（問題集） 英語検定試験
2 学期 中間 まで	出席状況 学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験
2 学期 末 まで	出席状況 学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験	学習態度 授業プリント 英語検定試験
3 学期 末 まで	出席状況 学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント